

プログラム番号 0909F3

学生との話し方・関わり方

愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター副センター長
愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻・准教授
野本 ひさ

本講座の目的・内容

目的: 日常的に学生と関わる際の留意点や方法について理解する。

内容:

1. 学生の特性を知る
2. あれっ？と感じる場面
3. 関わりにコツのいる学生事例
4. 問題解決のためのシステム
5. 効果的なコミュニケーション
6. 情報交換

現代の若者

- 刹那を生きる
- つながりを失う
- 立ちすくむ
- 自信を失う

労働政策研究・研修機構テキストより

大学生ニュータイプ？

- 高校のとき大学進学を考えていなかった
- 高校のときあまり勉強していなかった
- 「社会に出る[通過点](#)として、大学が何をしてくれるのか」に強い関心をもつ
- 大学でしか得られない[知識](#)に対する期待
- いくつかの生活パターン
 - 大学には行くが授業には出ない男子
 - 大学に行く日数は少ないが授業には出る女子
 - 主要な活動が大学内にはない学生の割合の高さ

全国大学生調査(2006、2007)報告より

教職員からのお悩み例

- 授業に来ない 連絡しても電話に出ない
 - 精神的にデリケートな学生に対してどのように接したらいいのかわからない
 - ゼミの途中までは調子よく来ていたが、途中から体調不良を理由に出てこなくなった
 - 夜間のアルバイトに精出して欠席が多い
- などなど。。

支援が必要だと感じる学生の例 (困ったな。。。)

1. 学修上の問題
 - 👉 勉強をしない
 - 👉 勉強ができない
 - 👉 単位が取れない など
2. 生活上の問題
 - 👉 学校に来ない
 - 👉 学校に来るが問題が多い など
3. よくわからないが何かが変だ

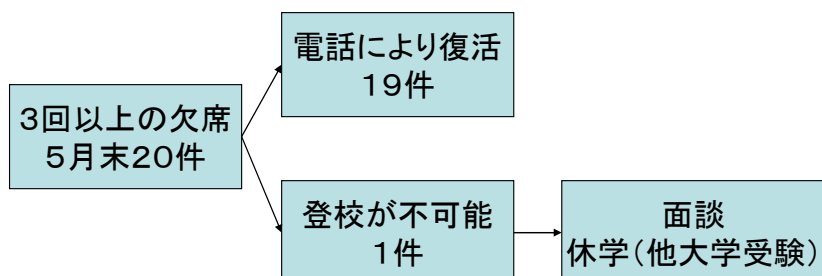
不登校の予防

いくつかのスクリーニングからわかったこと

1. 出席状況
2. 共通教育単位取得状況
3. 過年度履修(3年生以上)

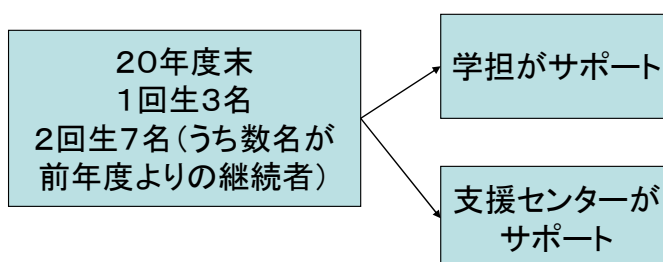
1. 出席状況

- 共通教育科目(こころと健康)の出席を促す
電話連絡システム



2. 共通教育単位取得状況

- 1回生終了時10単位未満
- 2回生終了時20単位未満



3. 過年度履修など(3回生以上)

- 履修時期に履修登録をしていない者
 - 履修登録も休学もしていない者は早急に対応の必要あり
 - 「意欲低下などが著しく、大学生活に迷うため一人で履修登録を躊躇していることが多い
大学継続に対する本人の意向と家族の意向の食い違い」
- 共通教育科目取得単位20単位未満
 - 特に前年度からの取得単位が増えていない学生については個別の支援が必要
 - 「評価しない」科目の多い学生は、学期始めには修学の意志が固くても何らかの理由で途中で挫折している場合が多く、学期中の継続面談が必要

過年度履修生面談例

- 3回生以上で履修単位が著しく少なく、前学期の単位取得がほぼ0である学生9名の例

スクリーニング 月1～2回の面談を実施

4月 5月 6月 7月 8月 9月

来ない者1名

1回面談後来ない者1名

電話をすればしぶしぶ来る者2名

両名とも徐々に出席しなくなり結局単位は取れず☆

最初は頑張ったが6月で急激に挫折した者1名

10科目以上試験を受けた者4名(復活者)

フォローアップ

履修登録はするが単位が取れない学生

いくつかの面談例(☆含む)からわかったこと

- 履修登録時期や方法を正確に知らない
- 修得すべき科目の順番性や意味について知らない
- 履修登録の追加・修正ができない
- 学期途中で教科書を買う方法がわからない
- 学担の先生に面談を依頼することができない
- 日常のことを気軽に聞ける友人がいない

簡単な情報収集ができない ← サポートでかなり解決する

- 面談の約束を忘れるが、呼び出すと来る

発達障害の可能性? ← 専門的な介入、本人・周囲の理解

学生が変化するためには

- これはやばい！と思う
- 大学生活の継続を約束する
- 出席状況をこまめにチェックする
- できたことをほめる(どんな些細なことでも)
- できないことは一度一緒に行動する
- 見守られていることを自覚する
- そのうちに、それまでの自分を振り返ることができるようになる

学力について急速に成長することはないが、
生活力や自我の成長はあり得る

関わり方のコツ

1. カウンセリング・相談・リスニング
2. 共感的コミュニケーション
3. ブロッキング
4. 自分を知る

カウンセリング・相談・リスニング

- カウンセリング:相手の隠れた気持ちや本当の欲求、未解決な感情への気づきを促す治療的関わり
 - 相談(コンサルティング):アドバイスすること
- カウンセリング的関わりと相談的関わりを意識的に使い分ける
- リスナー:「わかってもらえた」と思えるように上手に相手の気持ちを聴ける人
 - リスニング:事柄ではなく気持ちや感情を聴くこと

「あれ？」と感じたときには

共感的コミュニケーション

- 相手の気持ちを自分の中につくる
- 気持ちの共有
- 「わかってもらえた」という安心感・信頼
- 同情・同感(自分の気持ちが中心)とは違う

コミュニケーションを妨げるブロッキング

- 「わかるわかる、自分もそんな体験をしたことがある」という追体験
- すぐに意見やガイダンスをしたくなる相談員
- 自分の知りたいことを質問したくなる好奇心
- 「要するにこういうことですね」という自分の枠組みでの整理
- その他、誘導、解釈、シナリオ、時間が気になる、別のことを考えるなど

良いリスナーとは、自分のブロッキングを脇において聴ける人

自分の気持ちを知る

1. 相手に期待してよいこと
2. 相手に期待してはならないこと
3. 自分が自分に期待しなくてはならないこと